

第3回関東放送シンポジウム

COLLABORATING WITH 信越



「情報生産機関としてのコミュニティ放送」

プレゼンター
新潟経営大学経営情報学部
スポーツマネジメント学科
准教授 大内斎之

自 己 紹 介

- ・新潟県内の民放テレビ局で28年間、主に報道に携わる
- ・東日本大震災を契機に退職し、臨時災害放送局の研究を始める
- ・2017年「災害復旧・復興期における臨時災害放送局の実態研究」で博士号
- ・2018年博士論文をまとめた「臨時災害放送局というメディア」を上梓
- ・2019年4月から現職
- ・現在でも東日本大震災の被災地をフィールドワーク、震災伝承などについて研究中

東日本大震災からの報告

災害情報ハード論ではなく、災害情報ソフト論

- ☆ 災害情報は被災者が一番知っている
- ☆ 被災者からの情報を送り出す 情報生産
- ☆ 情報の拠点化 情報の中心地

※災害情報・・・被災者のための生活情報
災害報道・・・被害情報

コミュニティFM

臨時災害放送局

東日本大震災からの報告

宮城県山元町のりんごラジオから

2011年3月21日開局
臨時災害放送局

宮城県石巻市のラジオ石巻から

情報が情報を呼び
聴くラジオではなく、
語りかけるラジオで
効くラジオ

コミュニティFMから
臨時災害放送局へ移行
2011年3月16日

やまもとさいがいエフエム（りんごラジオ）とは

- 開局2011年3月21日～
閉局2017年3月31日
2203日間のラジオ局
- 東北放送元報道局長、
アナウンサー高橋厚が放送局長
- 自主制作比率 100%



りんごラジオ局の 放送運営



情報発信はコミュニケーションから

りんごラジオ秘密① 開局時のこと・・・

・町役場からスタジオ場所の提案

①役場一階の奥の会議室

静かな場所

②一階のロビー（右写真）

入りが激しく、音を遮断できない

「町民の顔が見えるところが大事」
高橋談

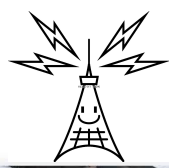
「町民とともに」を強調

町民の顔が見える
臨時災害放送が認知できる



こんなことがありました

イメージ



支援物資の靴が必要だ

津波で着の身着のまま
逃げてきたんです。
靴は持っていないのです

なぜあなたはスリッパで
歩いているのですか？



りんごメカの解明② 町民が主役のラジオ局

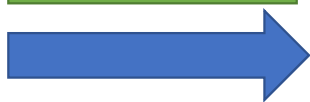


- 「被災者のインタビューからスリッパしかもっていないことがわかった。それから支援物資に靴をオーダーした」 平間副町長談
- 「一人ひとりのアイディアが情報になる。情報が情報を生むという循環様々なところにつながっていく」 高橋談

りんごラジオが被災者にインタビューした、そこで靴を持っていないことがわかった

被災者

被災者情報



災害情報



災害情報



被災者情報

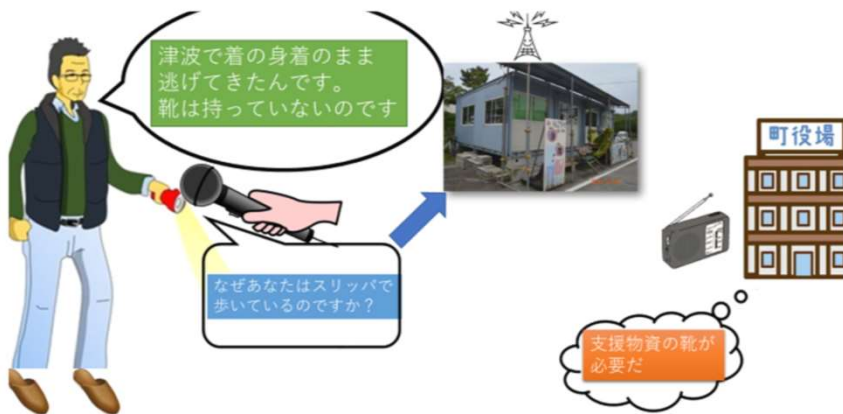
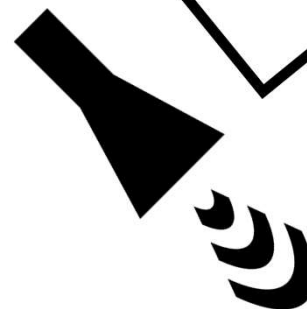


被災者

災害情報

被災者情報

町役場





りんごメカの解明② 町長が生出演

- 「デマが飛び交った。直接町民に話すことで、安心感を伝えることができる」 斎藤町長談
- 「町民へのメッセージ、被災者にがんばって欲しいという気持ちを伝えるように努力した」 平間副町長談

アナウンサーが町長のコメントを読み上げた方がわかりやすいが、町長の生の声に説得力があり、安心感がまれる。混乱を鎮めるためにも本人出演が有効



直接の呼びかけ

被災者

ラジオ石巻（いしのまきさいがいえフエム）

ラジオ石巻（いしのまきさいがいえフエム）

- ・ 開局1997年5月28日～

放送スローガン

- ・ 「むすぶ、つなぐ、地域の輪」
 - ・ 市民参加型のコミュニティFM
-
- ・ 臨時災害放送局2011年3月16日～
2015年3月25日



SOSメールがきた

助けてください

メールが届く
3月11日午後5時35分

「みなと2丁目6-1です。〇〇です。津波でいえからでられません。
いま2かいにいます1階は水没して壊滅的状态ですいえがながされていきます」
原文のまま

「とにかく誰かの手を借りたかった」

出典：鈴木（2012）, p13

なぜこうしたメールを送ったのか



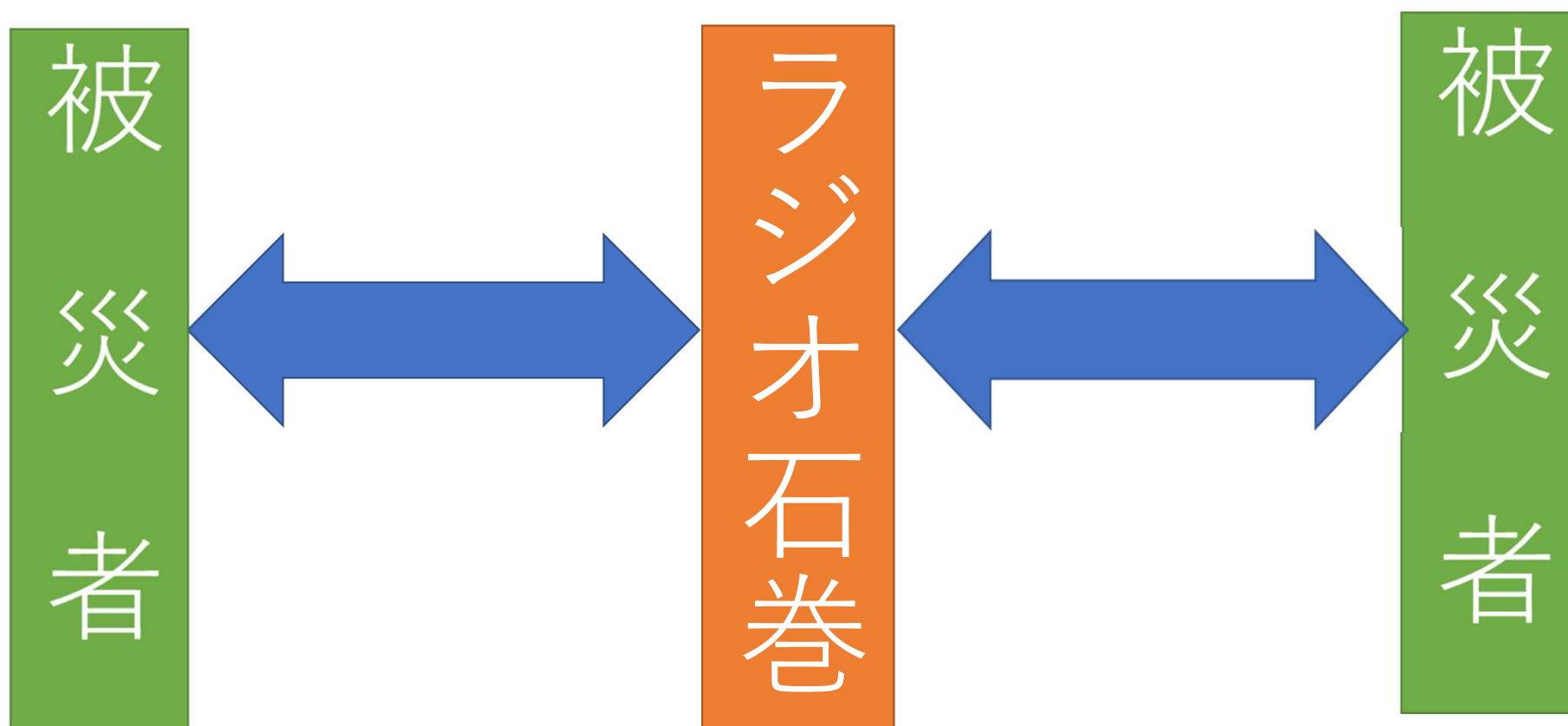
ラジオ局の向こうのリスナーが助けてくれる

地域情報、安否情報

ラジオでつながっている人たちがいる

引用文献
鈴木孝也（2012）『ラジオがつないだ命』河北出版センター, P13

情報の流れ図



まとめ

リスナーの
人たちへ

聴くばかりではなく、語りかけるものである

放送運営者
の人たちへ

被災者は受信者と同時に、発信者でもある

コミュニティ
放送とは

被災者同士の結節装置としての存在意義

結論

コミュニティ放送は災害情報を生産する媒体

時間があれば・・・番外編

コミュニティ放送 番外編 癒し効果

エピソード ①

りんごラジオではゲストの小学生が校歌を熱唱で役場内が涙に包まれた

エピソード ②

熊本シティエフエムでは、震災夜に小学校校歌を放送したところリクエストが殺到した